議会運営委員会議会改革検討小委員会

次 第

日時：令和7年3月4日(火)

議会運営委員会終了後

場所：議会運営委員会室

1 開 会

2 事務局・図書館機能の強化について

3 その他

※次回開催日（案）：令和7年3月7日（金）

議会運営委員会終了後

4 閉 会

前回（2月21日 議会改革検討小委員会）における各会派の発言内容について

	体制の在り方、事務局・図書館の課題について	対 応 案
自民	<ul style="list-style-type: none"> ・議会事務局の職員数は、執行部と比べ少ない印象であるが、全国の状況と比較すると標準的な人員が配置されている。 ・議会運営については、現在の体制で円滑に進めることができている。 ・政策立案機能について、平成16年度に政務調査室長を、平成22年度に調査課に政策法務係を設置するなど、段階的に充実・強化されている。 ・一方で、若手職員の割合が3割近くを占め、30・40代の割合が少ない状況にあり、今後も若手職員の配属が続くと思われる。サポートの質の充実、安定的な体制確保に向けた取組が重要な課題であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来から取り組まれているが、議会運営に精通した職員を育成する取組を充実させる方策を検討することが求められる。 ・政策提案機能の強化については、議員自身の議員力向上はもとより、事務局による議員の適切なサポートのため、レファレンス充実、他府県の好事例の調査などにより、職員の質の向上や組織的な対応力の強化を行うことが求められる。
維国	<ul style="list-style-type: none"> ・若手職員が多いことから、議員サポート体制の充実・強化の取組が重要である。一方で、図書館機能に関しては現状で十分機能している。 ・広報広聴については、SNSのフォロワー数が伸び悩んでおり、引き続き情報発信を強化していくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員自身の議員力向上が必要であるが、それとともに、今後も若手職員の配属が続くと思われるため、議会制度に精通した職員の育成が重要。 ・また、外部との連携を行い、他府県議会等のことも含めて勉強をしていく必要がある。 ・現状でも出前高校生議会等、精力的な広報広聴活動や情報発信が行われていると思うが、今後もより一層情報発信を充実させていただきたい。
共産	<ul style="list-style-type: none"> ・議会職員の定数については、全国的にも少ない状況であり、直ちに増員することは難しいとの認識であるが、人事のあり方も含め、事務局体制の充実を図る方向で検討いただく必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員力向上が重要との前提において、事務局の若手職員の割合が多い状況の中で、各職員が全国状況や政策の調査・研究を行うことは、議員のサポート面のみならず、府職員として研鑽を積んで広い視野を獲得するという側面でも重要であり、充実を図っていくことがよい。 ・図書館については、職員のレファレンススキルは高く、評価している。したがって、議員・事務局職員が、そのレファレンススキルを学ぶことも重要であるため、図書館利用の手引書となる冊子等があればよい。

<p>府民</p>	<p>・事務局の職員数については、全国状況と比べると問題はなく、政策立案機能等についても、しっかりと取り組んでいる。</p> <p>・職員の年齢構成については、20代の若手職員が多いが、議員とより接する課長等の職に就いていく40代位の中堅職員がもう少し多い方が、全体のバランスとしては望ましいのではないかと。</p>	<p>・図書館機能は、現状で非常に素晴らしいものと理解しているが、最近であればインターネット上で閲覧することが可能なものもあるので、そうした取組を検討するのもよいのではないかと。</p> <p>・広報広聴の充実・強化について、例えば、現在テレビ放送を行っているが、テレビをあまり見ない世代もある状況の中では、やはりSNSやインターネットでの露出が非常に重要であるので、これらを検討するのがよい。</p>
<p>公明</p>	<p>・事務局説明で挙げられた、①議会改革の検討・実践を的確にサポートする体制の充実、②議会運営・委員会の安定的サポート体制の確保、③議会の情報発信・広報広聴の機能の充実という3つの課題については、従来から対応いただいているところであるが、今後も着実に継続していただきたい。</p> <p>・図書館の評価については、現在行われている議会基本条例の検証とも整合性を図るべき。</p>	<p>・広報広聴については、例えば、出前高校生議会・おこしやす京都府議会の参加者等に対してSNSをよりアピールするなど、戦略的な情報発信をしていただきたい。</p>

議会事務局・図書館機能の強化について（案）

体制について

○他府県の議会事務局と比べても標準的な人員配置がなされており、現状は事務局・図書館ともに機能している。しかしながら、若手職員（20代）の配属が多くなっている現状を踏まえるとサポート体制の質の充実と安定的にサポートする体制の確保が求められる。

○広報広聴については、様々な取組がなされているが、SNSのフォロワー数が伸び悩んでいるなどの課題があり、戦略的な議会情報の発信、広報広聴の活動が必要である。

【その他】

○中堅職員の配属など人事のあり方も含め事務局体制の充実を図る方向での検討も今後は必要となるのではないかと。

課題について

◇議会改革の検討、実践を的確にサポートする体制の充実

◇議会運営や委員会運営を安定的にサポートする体制の確保

◇議会情報発信、広報広聴機能の充実

対応について

【議会運営に精通した職員の育成】

（取組例）

- ①全職員を対象とした「議会運営の基本事項」などの研修

【職員の質の向上と組織的対応力の強化】

（取組例）

- ①運営係、調査係、政策法務係、広報広聴係を対象としたレファレンス研修（府立図書館司書の講師派遣）、レファレンスの手引きの作成等
- ②府立図書館（蔵書130万冊）との連携強化による貸出機能の充実
- ③他府県事例の調査・情報提供
（議員提案条例等の情報収集、議員への提供）
- ④執行部との関係強化
〔執行部職員対象：本会議・委員会制度説明会〕
〔事務局職員対象：京都府主要施策説明会〕

【広報広聴事業の取組の強化】

（取組例）

- ①出前高校生議会、おこしやす京都府議会、大学生との座談会等の既存事業の充実強化
- ②HP、SNSを活用した効果的な情報発信